

# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(H29~30年度:計画作成主体:能代市農業再生協議会)(秋田県)

## 取組の概要

取組の概要 : 露地野菜(ねぎ)産地の形成  
 対象品目 : ねぎ (R2栽培面積: 3.6ha)  
 主な取組主体 : 個人農家 1経営体  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
 導入施設等 : 整備事業 集出荷施設  
                   生産支援事業 パイプハウス

## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

- 課題
  - ・ 水稻依存の営農体質からの脱却
- 取組方向
  - ・ 高性能機械や育苗施設等の導入による省力・低コスト生産
  - ・ ねぎ大規模生産モデルの確立

## 地区の概要

秋田県能代市  
檜山地区



## 推進体制

大規模園芸拠点等育成推進チームを設置し、事業内容や実施スケジュールを情報共有しながら、関係機関で役割分担

構成	役割
取組主体	施設機械の導入による大規模複合経営
JAあきた白神	営農指導、研修会の開催、販路拡大
能代市、藤里町	各種事業の手続き、栽培試験
県地域振興局	事業推進、関係機関との調整

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ・ 集出荷施設やパイプハウスの導入により省力・低コスト化、高品質安定生産体系の確立

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- 取組3年目に販売額が飛躍的に増加し、その後も、年々、販売額が増加

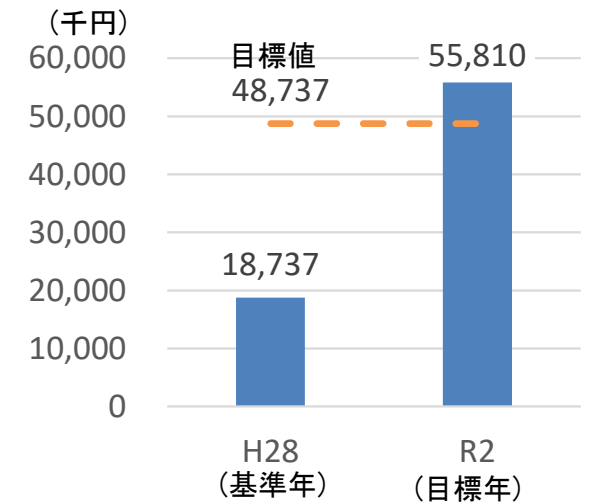
	H28	R2
作付面積(ha)	2.1	6.2
生産量(t)	58	155

### 【事業実施による間接効果】

- ねぎ大規模生産を新たに開始したことによる雇用の創出



販売額 298%増加  
(達成率124%)



(※目標年の実績は価格補正後の金額)

## 地域における独自の取組

- 産地生産基盤パワーアップ事業と共に県単補助事業を併せて施設整備と機械導入を支援
- JA園芸メガ団地連絡協議会を開催し、ねぎを大規模に生産する経営体が関係機関も交えて情報共有